



ぼらんていあ通信

2月号
通巻 No.519

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2025年2月25日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: <https://sagamiva.info>



ボランティア協会は 今年も市民桜まつりに参加します！！

皆さんの参加、協力をお願いします。

桜まつりは4月5日（土）、6日（日）の2日間、
福祉バザーは2日間とも開催、会場はけやき体育館です。
パレードは6日です。

バザー品募集

ご家庭で不要なもの（古着・食品以外）、手芸品
や材料などをご提供ください。

募集期間：3月5日（水）～
4月3日（木）まで

問合せ・持込時間：10時～15時

*日曜日、祭日を除く

あじさい連絡所への持ち込みが無理な方はご連絡
いただければ、日時を調整して受取りに伺い
ます。

*連絡・問合せは
相模原ボランティア協会あじさい連絡所
電話042（759）7982

福祉バザー・パレード参加者大募集！

多くの方のご参加をお願いします！

- ① 福祉バザーの会場準備
4日（金）10時～12時
- ② バザー用品値付け
4日（金）10時～12時
13時～15時（会場搬入）
- ③ 福祉バザーの準備・運営
5日（土）10時～17時
6日（日）9時～15時
- ④ パレード参加
6日（日）10時半～11時半
- ⑤ 福祉バザーの会場片付
6日（日）15時～17時
- ⑥ バザー用品の片付
6日（日）15時～17時（搬出）

※ご都合の良い日に2時間ほど

場所：④は市役所前通り

①、③、⑤はけやき体育館です。

※②の値付け作業はあじさい会館
6階ボランティア活動室です。

※①、⑤の会場準備、片付は福祉バザー実
行委員会への協力です。

お知らせ

春講座のお知らせ！！

認知症をもっと知る講座

認知症を知り、当事者と考える住みよいまちづくりのために

日時：3月27日（木） 午前10時～12時

会場：あじさい会館6階 第1・2展示室

講師：糠信千代子様

相模原市チームオレンジサポートセンター
コーディネーター（介護福祉士・介護支援専門員）
認定NPO法人 Link・マネジメント

認知症当事者の方

受講生募集！！



受講料：無料

対象：相模原市内在住・在勤・在学の方

定員：先着80人（申し込み後、当方から
特別な連絡がない限り参加可能です）

申込み方法など詳細は協会HPをごらんください。
QRコードからでもお申込みいただけます。

HC13号車特集

ハンディキャップ活動の近況

事務局長 小川みづえ

ボランティア協会の所有の車は2台ありますが、去年の10月に一台を買い替えました。その乗り心地などを活用するために運転手さんに伺ってみました。

*新しい乗用車の声

・新車だといいものがたくさんある。(例えば、中古車です。新車と思えるものを安く買いたいという欲がありました。)
・後この補助席が以前より広くて座り心地が良くなった。並んで座れるようになったのは嬉しい。

・新しい車に慣れるまでは運転手さんは大変でしょう。(採用希望の方はこの運転手さんに話を聞いてみてください)
*運転手さんへの声

- ・キーンと鮮やかな音なので乗り降りが楽
- ・パーキングブレーキがフット式になっておやすみ
- ・車椅子を引いたらエンジンの音が引っ掛かなくなった
- ・全般的に車椅子の乗降がスムーズになりました
- ・エンジンやエアコンの音が以前より静かで快適です
- ・ナビのDが使えるので、利用者がよく聞いてくれるのでうれしい

やはりお気に入りの好評ですが、それでも小型の軽トラックに比べて乗り心地が良くなるように感じています。何より「送迎中は利用者の安全を第一に考えています。緊張感を持って安全運転を心がけています。」という声も、この運転手さんからも聞かれました。

ああ困った！

「きんじアルパカ真光寺」が見つからない

13号車体験記



運転手 瀬戸 晴彦

お名前紹介

車の運転が好きで、城山町で当時の町社協の福祉車運転手経験が4年あります。法人で自家用車での運送の経験が7年ほどあり、先輩の紹介もあり、3年ほど前にハンディキャップ運転手を担当するつもりが、ボランティア協会の登録を待たなければならなかった。

他の業務もいろいろな福祉活動も兼務していますので、ボランティア活動は、月1〜2度程度の自家用車運行を主に担当させていただきました。

今回の福祉車(13号車)の運転体験

11号車以来の回、13号車で1回の実経験がありましたので、私のスケジュールが確保できる日程以下の運行指示書を送りました。地図はナビで行くので不要と断りましたが、13号車のバックには目的地の地図も入っていたのですが、当日余裕がなく確認できませんでした。

*運行指示書の内容

- ・1月25日土曜日の午後2時30分車庫発
- ・利用車種：午後3時
- ・利用車庫：中央区下の福祉施設
- ・利用者の目的地：田田真光寺の標識の福祉施設
- ・目的地到着予定時間：午後3時45分



館下の施設で車を回すをロープで止めて乗車させよう、先に入れたポストンバックなどが少し障害となっ

トベルトで四苦八苦しましたが、とにかく目的地に向け私のスマホのGoogleナビを頼りに出発しました。

ああ、困った！ 目的地に着きましたが、倉庫があるだけで、施設がありません。その付近におられる方にお尋ねしましたが、時々間違っている方があられるとのことでした。

施設に3回電話して、道案内をいただき、一度通過しましたが、Uターンで道案内に出していただいた施設職員を自宅に迎えようとしたのですができませんでした。

*反省点

ナビの打ち込みに使った住所が文字違っていたため、違った場所に行っていました。

ナビの住所打ち込みの表示とナビが示す位置の違い、気が付いていなかった技術的雑せが私にありました。

13号車の運転手用のバックの中に入った地図に目を通す余裕がなかったこと。

等があげられます。反省したいと思います。

*この運行の翌日に瀬戸さんから利用者さんからチームが来て事務局に迷惑をかけてなければ良いのですが、「ナビでお電話をくださいました。」

瀬戸さん、この程度のことは「運転手さんもある程度です。いざからその誠実なハンディキャップを一つ一つ聞いていきたいと思います。(小川みづえ)



市内施設訪問記



「いつもにきもの」～津久井やまゆり園のなかへ
共に学びあおうとまなびの森を築いて 【前編】

2008年あまり、メニューに様々な取り上げられてきた知的障害者施設「津久井やまゆり園」。

かつて起きた痛ましい事件は、障がい者の方に接する機会が多いボランティアの皆様と「おぼろげな未来」を築くものかと思えます。ハンディ

ィキャンの利用者の中には通所していた方もいました。事件後、神奈川県は「津久井やまゆり園再生基本構想」を策定、今や園は新しい社会福祉法人として利用者、支援者、地域がともに支えあって生きる社会の象徴となるべく運営されています。その取り組みの一端を見学させていただく11月末、広報委員4名で訪問しました。



笑顔がとても素敵な永井園長（左）と岡崎部長。うちわは利用者さんからのプレゼント！

緑区千木良の元の場所に再建された津久井やまゆり園は、木材が多く使われ、光があちこちから差し込む明るい雰囲気の建物。玄関のホールにはダウン症の書家金澤翔子さんの大きな書「とも」も「生きる」が飾られていました。園長の永井清光さん、支援部部長の岡崎美樹さんにお話し、案内をうけたのもうた。



＊春創りの周年、12月までのまたあじなまでのだったのどきょうじ。

1964年創立の障害者施設として開園、施設の増改築定員の増減があり、1600名の入所施設となりました。2005年から法人運営、事業展開が進みました。2016年7月26日元施設職員による利用者19名の命が奪われる事件がおきました。

その後横浜市に仮移転して運営をひけていきました。が、県の方添えのもと、2021年より千木良地域に整備がなされた新しい園の運営を41名の入居者と共に開始しました。

＊再生にあたり目指すこと「自分らしく生きる」

再生構想の重点は、生活の場の選択にあたり利用者自身による意思決定の支援と「ことば」です。周囲の人が適性を判断、決めてしまうのではなく、「当事者目線」を大切に、当事者の心の声に耳を傾け、その願いや望みを尊重して、友達や仲間、地域とのつながりのある暮らし、当事者の望む暮らしを一緒に考えて決めるのどきょうじ。

そして、その望みを表現することが利用者の幸せとなること、その利用者の意思を尊重し、工夫して支援をする周りの仲間の喜びにつながるという双方の関わりが、「いつもにきもの」を形作っているといえます。この考えのもと、県立施設は連携を、県では「昨年11」当事者目線の障害福祉推進条例」も制定しました。



「鎮魂のモニュメント」に込められたコンセプトを説明してくださっている永井園長

＊具体的には職員と取り組むことを決めた。

津久井やまゆり園の運営方針は、本人の望む暮らしの実現、支援する職員が楽しく働くことが出来る職場づくり、地域に愛されたい施設の大きくを点です。

意思決定支援は、食事・衣服を選び、余暇活動を選び、一日の過ごし方を選びながらの日常の支援し、社会生活における選択の支援があります。住まいや引っ越し、交際・結婚、医療の方針、仕事選択など人生に関わる生活の選択は多職種の人でチームとして当事者の心の声を聞き、考えて意思の決定の支援を進めます。担当者の独断はしません。

居住棟の生活者ユニット（11名、内短期1名）が6つある造りです。個室個室です。廊下もあえて見通しのきかない一般家庭のような造りにしてあります。プライバシーの確保とともに職員の配置の工夫で安全も図っています。定員66名（内短期入所6名）で現在はほぼ満室、個室生活にも慣れて過いしています。

また、ユニットの出入りのドアは24時間錠錠されています。利用者本人の自己決定権、身体を自由に尊重する観点からの取り組みです。

熱心なお話しで「いつもにきもの」という言葉の意味がおぼろげながらわかったように思いました。まだまだお伝えしたいので、3月号では続きを後編として園内での活動の場や、望む暮らしを実現するための地域のみなさんの交流の様子をご紹介します。

（石関・小川・恒藤・杉崎）

社会福祉法人 かながわ共同会
津久井やまゆり園
〒252-0174 相模原市緑区千木良 476
TEL： 042-684-3511
園長 永井 清光

理事の報告

2月8日(土)開催 理事の名出席。
1、報告・連絡事項

《広報委員会》

- ・ぼら通部会：1月号は21日印刷発行。若サポ7名参加。
- ・情報部会：ぼら通1月号をFacebookにアップした。
- ・ホームページの講座の欄の更新について。

《HC委員会》《事務局委員会》

- ・4月からボランティアセンターの開所時間変更に伴う利用会員への周知の内容を検討。
- ・HC運転者交流会は3/29(土) 12時30分〜市民会館 第2中会議室。

《春講座検討委員会》

- ・春講座の内容について。広報がみは3/1号掲載予定。

《傾聴委員会》

- ・活動者1名減・1名増。
- ・映像企画実行委員会

《成人を祝つ会》の取材を若サポとともにおこなった。

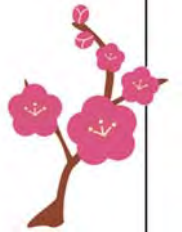
2、その他

- ・交流ボウリング大会↓6/28(土)9時〜
- ・子どもボウリング大会↓8/8(金)10時〜を予定。
- ・ぼら通メール送信の対応について検討した。
- ・切手グループより寄付があった。

3、審議・確認事項

- ・通常総会関係の確認・検討↓総会開催日(5/31) 監査実施日(4/21 13時〜)
- ・あじさいフェス2025への参加内容を検討。

次回理事会開催予定 3月15日(土) 11時から



相模原ボランティア協会 3月の予定

日	時間	内容
5(水)	13:00~	広報委員会・ぼら通部会
13(木)	10:00~	傾聴委員会
15(土)	10:00~	協会の在り方検討会議
	11:00~	定例理事会
	13:00~	ハンディキャブ・事務局合同委員会
19(水)	15:00~	映像企画実行委員会
25(火)	10:30~	ぼら通3月号印刷
	13:30~	ぼら通3月号発行
27(木)	10:00~	春講座「認知症をもっと知る」
29(土)	12:30~	HC運転者交流会

このマークは？

知っているようで知らない地図記号。このマークは何だっけ？

ある植物とその影が記号になっているよ



*竹林

竹が生えている様子とその影を図式化した記号です。竹が密集して生えている“竹林”の場所を示します。



つぎやきコーナー

にしもと たかし 西本 敬

2025年問題と言われます。国民の5人に1人が後期高齢者になるのが、いよいよ今年というわけです。今年75歳になる人は1950年生まれということになるのです。

そこで、世代交代がスムーズにいくためには、年代による経験内容は昔と比較にならないほど差があり、理解しあうことが必要です。現在の中高生に参加してもらい、世代差を越えて一緒に実施できるプログラムが必要になりますね。若い世代と一緒にやれるボランティアプログラムを考えたいというニーズがある問題意識が生まれます。



切手グループから

今年もご寄付をいただきました！

1月31日(金)に、切手グループの皆様から多額のご寄付をいただきました。厚くお礼を申し上げます。

切手グループはメンバー5名で、毎週金曜日に使用済み切手を整理しています。もし、お手元に使用済みの切手がありましたら、当協会事務局までお持ちいただければ助かります。未使用の切手や書き損じはがきも大歓迎です！

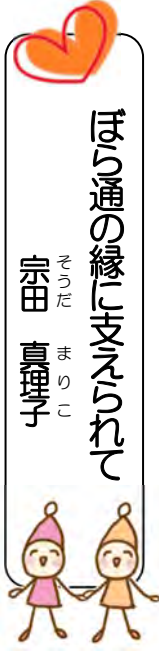


とても仲良しな切手グループのみなさん



あけびの会のみなさん

ほらんていあ通信音源版を、視覚障がいをお持ちの方々に毎月届けようと考えている『朗読サービ』スあけびの会』の宗田さんに活動の様子をうかがいました。



「朗読サービ』スあけびの会は城山町在住の視覚障がいをお持ちの方を対象に、月初旬発行の広報のみはらの録音テープを作成し郵袋でお届けするボランティアグループでした。

今から33年前の1982年、川尻八幡神社近くに建設された城山保健福祉センター（現城山公民館）2層ほどの録音室が設けられ産声を上げました。ライントセンターで学んだりリーダーの指導のもと、録音好きの初心者7〜8名が集い、数か月基礎を学び、方言のアクセントのまま、緊張のマイク前の録音が始まりました。相模原ボランティア協会との縁が始まった

のは、市と旧津久井郡4町合併後の、2010年4月（ほら通341号）に始まり、この号No.519に至ります。直前2010年2月市録音奉仕会の小川紀江さんが訪問くださり、マニュアル、録音テープ、点字ラベル、専用カセットテープ、郵袋、名簿等グッズを託してくださいました。城山町の利用者はボランティアより人数が少な

かったと記憶しています。ほら通利用者は城山旧相模原市内在住なんと20名の方でした。しかも活動日は月下旬が加わり、一度に3本のダビング作業に暗くなるまでかかっていました。風食はカップ麺で済ませ、録音テープを編集することなく利用者さんの皆さんにお届けしていました。今も、機械に弱いメンバーにより雑音や音の大小等、聞きづらいテープをお届けし、お詫言することも多々。広いお心でお聞きくださり感謝しています。

また、デジタル時代になり、CDレコーダーにもA面とB面のカセットテープで作成も続いています。録音奉仕会の飯塚さんには来所され数回におよびCDレコーダーの指導にもかかわらず、私達の力およはず断念。その後2020年9月から「あけびの会」と縁があり、テープからCD、SDに変換していただき城山在住利用者へ届けています。このほら通が毎月、取材などの、予定通り、同じペーシ数に編集、印刷、発行、発送される広報委員の方々の熱意に敬服しています。「コロナ禍にも続けてこれら、公民館の使用ができない中、録音テープを作成せねば、私宅に機材を持ち込み、生活音を気にしながらも録音できたことは楽しい思い出になっています。



録音中！

縁あってほら通に関わる事がなければ、市の福祉活動を知ることなかったと思います。最近では、あの小川紀江さんのカフェでの回想法に興味津々で

す。お元気に活躍の様子をつれしく拝見いたしました。2010年お世話になっていた大島在住の△さん、今あけびの会のメンバーの名の一人です。あの時の縁が繋がっています。

城山地区のボランティアグループとして、地区社協事業に参加協力しています。赤い羽根共同募金、「福祉のつどい」朗読録音奉仕体験コーナー、誘導などの会の協力をしています。

どこかでお目にかかれると嬉しいですね。つぎげんよう、ちよひのり。



ほら通のテープと郵袋

3月の記念日は？ 小倉義男

3月16日は、折りたたみ傘の日です。岐阜県関市に本社を置き、産業機械用部品の製造販売とともに、海外の優れた商品の輸入販売などを手がける株式会社イマオコーポレーションが制定。その輸入商品のひとつにドイツのハンス・ハウプト氏が世界で初めて発明、特許を取得した折りたたみ傘があります。記念日を通じてこのことをより多くの人に知ってもらうのが目的。日付は特許を取得した日（1928年3月16日）から。

【出典（一社）日本記念日協会より参照】



小倉画

ボランティアさん募集!

① 高齢者が通うデイサービスにおける活動や運営のお手伝い

依頼者：リハビリテーションOne(ワン) (中央区清新8丁目)

内容：利用者のお話し相手や手芸活動のサポート、施設内のお掃除など

日時：月～金曜日 午前9時～午後5時のうち、都合の良い曜日・時間 (月1回～でも可)



② 障がいのある方の日課活動のお手伝い

依頼者：自立訓練センターあんじゅ (中央区星が丘2丁目)

内容：利用者の軽作業のフォロー、外出付添い、体操・工作・ゲームのお相手 等

日時：月～金曜日 午後1時～4時のうち、都合の良い曜日・時間 (週または隔週1回程度)

持ち物：マスク・派手でない動きやすい服装 (シーズ・腕時計・アクセサリは不可)

※①、②ともに、駐車場なし・駐輪場あり

※皆さんがお手伝いしてみたい内容についてお伺いしながら、活動内容を検討していきます。



※ 連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042 (759) 7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター : 電話 042 (786) 6181

FAX 042 (786) 6182

メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp



《2月のイラスト
…受験生がんばれ!!!》

山口尚美画

ご寄付をありがとうございました。



皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に使用させていただきます。

<1月の寄付者>

切手グループ他4名の方からご寄付をいただきました。

<1月の寄付金>

総額 215,000円でした。

お知らせ

今年度登録について

次年度の会員登録を、4月1日からとらせていただきます。
ぼらんていあ通信3月号に手続きのご案内を掲載いたします。
よろしくお願いたします。

事務局

編集後記

梅見頃になり、満開の紅白梅を見つけると「なんでもなっちゃう。この花が実になれば梅干しが何粒できるか、とか、今年の梅シロップは誰があげようか、とか、思いは口に入れる快感に飛んでしまう。梅の芳香よりの実の美味さ。「花の園」っていいよね。花の種類ではなく、食の意地の張り方を言っているのだと思う。スーパーに行けば桜餅が見られるよ。この春、季節は3月かな。3月、2月が終わる。...みなさん、1月にお送りした役員改選の投票はお済みでしょうか。2月28日の消印まで有効です。ぜひ投票をお待ちしております。(三)